

令和7年度

事業計画書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)



令和7年3月25日

学校法人 帝塚山学院

目 次

令和7年度の主要な事業計画

I	はじめに	・・・P	1
II	学校法人帝塚山学院の中期計画		
	[1] 令和3年度から令和7年度までの第二次中期計画の全体図	・・・P	2
III	令和7年度 帝塚山学院の事業計画の骨子		
	[1] 法人本部の事業計画	・・・P	3
	[2] 幼稚園の事業計画	・・・P	5
	[3] 小学校の事業計画	・・・P	6
	[4] 泉ヶ丘中学校高等学校の事業計画	・・・P	8
	[5] 中学校高等学校の事業計画	・・・P	9
	[6] 大学・大学院の事業計画	・・・P	11
IV	令和7年度 予算の概要		
	[1] 資金収支計算書（活動区分資金収支計算書）	・・・P	13
	[2] 事業活動収支計算書	・・・P	14
	[3] 学生・生徒等数推移表（令和元年度～令和7年度）	・・・P	15

令和7年度の主要な事業計画

I はじめに

令和7年4月1日より改正私立学校法が施行となりました。新たな私立学校法では、我々私立学校がこれまで以上に実効性の伴うガバナンス改革を行い、社会の要請に応える教育や研究を行うことが求められています。併せて、学校法人がその活動を健全かつ効率的に運営するための仕組み、いわゆる内部統制システムを整備し、運用していかなければなりません。このため経営管理、リスク管理、コンプライアンスのほか、監査環境の整備など内部牽制機能の強化をはかるため、その基本方針をとりまとめました。教職員全員が改正私立学校法と内部統制システムの趣旨についての理解を深め、帝塚山学院らしい特色ある教育に決意を新たに取り組みます。

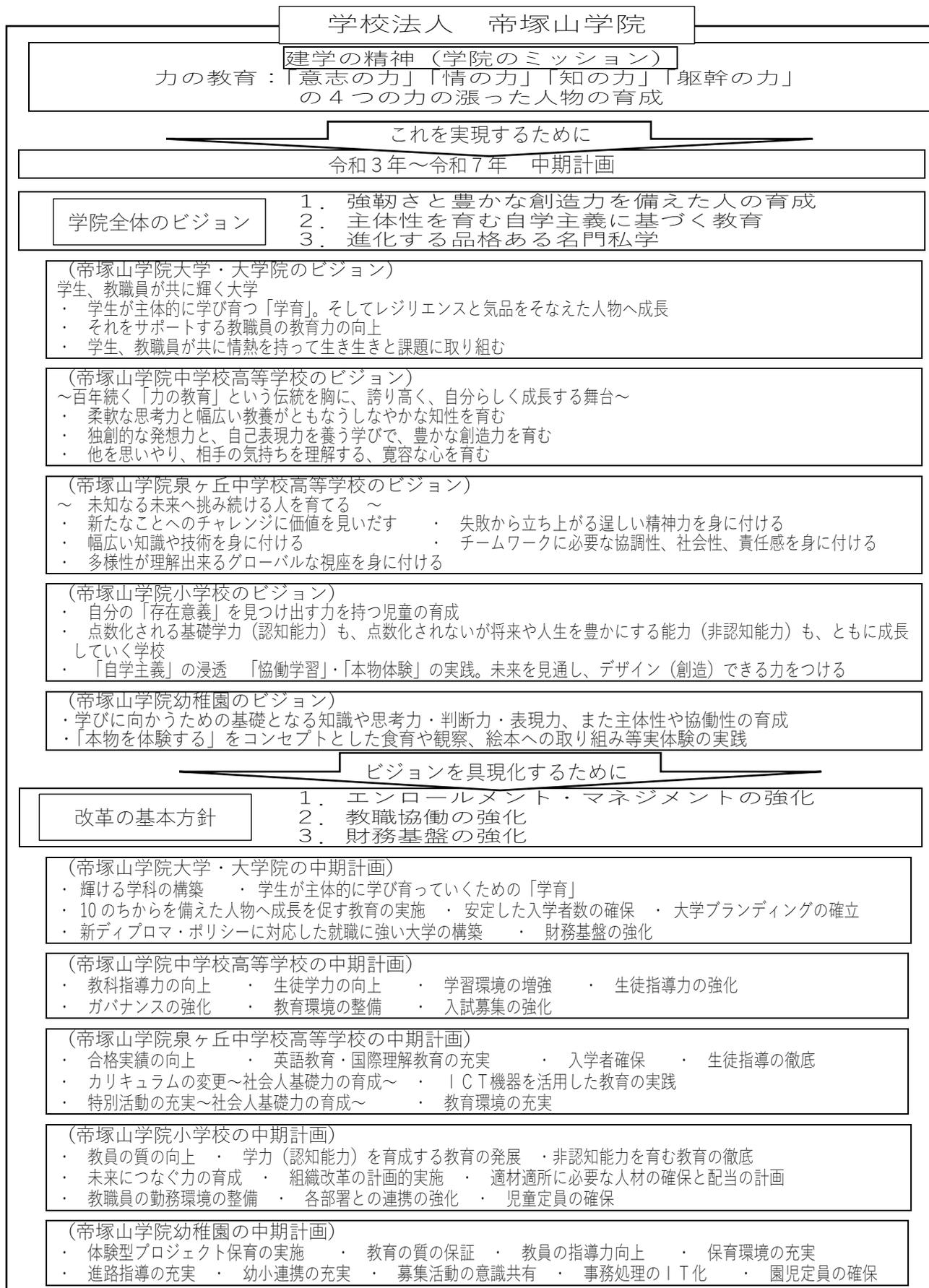
また、昨今、教育を取り巻く環境の変化がより著しくなっているのが現状です。令和6年の出生数は前年よりもさらに減少し、速報値で72万人となりました。このような急速な少子化を踏まえ、中央教育審議会は、文部科学省に「大学の再編・統合や縮小、撤退を支援することが必要」との踏み込んだ答申を出しました。公立高校改革が進む一方、私立高校の無償化等の動きも全国に広がりつつあります。さらには、AIとの向き合い方も本格的に検討をし始めなければなりません。

このように、ありとあらゆる目まぐるしい変化、事象に対して、教職員一人ひとりが真剣に対峙し、スピード感と行動力を持って解決していかなければ、「選ばれ続ける私学」にはなりえないでしょう。

加えて、本学院にとりましては、令和7年度は、第二次中期計画の最終年度でもあります。令和7年度は、各学校園で入学定員を充足できる見通しとなっているものの、昨今の物価上昇や教育の充実に向けた投資等の影響のため、財政状況は厳しい現状です。このことを一層認識し、身を引き締め、各学校園が定めた目標の達成に向けて歩んでまいります。法人及び各学校園の年度計画の詳細は、後掲の事業計画に示していますので、ご確認ください。

II 学校法人帝塚山学院の中期計画

[1] 令和3年度から令和7年度までの第二次中期計画の全体図



Ⅲ 令和7年度 帝塚山学院の事業計画の骨子

[1] 法人本部の事業計画

【重点項目】

- (1) 改定寄附行為に沿った円滑な学院運営
- (2) 第3次中期計画の策定（令和8年度～令和12年度）
- (3) 財政基盤の強化
- (4) 学生生徒等募集体制の強化
- (5) 人事・給与体系の確立

1. 本部事務局総務部

- (1) 改正私立学校法及び変更後の寄附行為への対応
(いずれも 令和7年4月1日施行)
 - ① 新体制での理事会及び評議員会の円滑な運営と内部統制整備関係諸規程の円滑な運用
- (2) 就職支援会への協力依頼と入会促進
 - ① 既に入会の企業には引き続きの協力を要請 未入会の企業には入会を勧誘
- (3) 募金施策による増収
 - ① 「まつかさ応援募金」の促進
 - ② 「母校応援ふるさと納税制度」での寄付募集
- (4) 学院ブランドイメージの向上

2. 本部事務局企画部

- (1) 入学募集定員の確保

3. 本部事務局財務部

- (1) サーバクラウド化とネットワーク効率化
- (2) システム化による業務の効率化の推進
 - ① 納付金業務のWEB化

(会費・寄付金・都度納付業務など)

- ② 経費精算システムの導入
- ③ 予算編成と決算業務効率の改善

(3) 情報セキュリティに関する手順の整備と教育の拡大

(4) 収支管理の強化と精度向上

- ① 戦略予算検討会の実施など予算管理の運用の継続
- ② 25年度決算、改正学校法人会計基準への対応

(5) 施設・資産管理

- ① 帝塚山学院ブランドのイメージにあう建物などの安全と美化の推進
- ② 購買・契約管理制度の運用見直しと随意契約のガイドラインの徹底
- ③ 新経理規程に沿った固定資産管理規程の改定
- ④ 大学の固定資産管理の新しい管理（棚卸）方法の運用

4. 本部事務局人事部

(1) 優秀な人材の採用・教育の質向上

- ① 戦略的採用活動の推進

(2) 職員全体を対象とした研修制度の確立

(3) 組織の計画的・効率的配置・編成

(4) 人事制度の見直し

- ① 人事関係諸規程の整備

(5) 定年延長を見据えた人事制度の見直し

- ① 定年再雇用教職員のモチベーションアップ
- ② 改正高年齢者雇用安定法への対応

[2] 幼稚園の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 教育の質の保証

- ① 体験型プロジェクト保育の実施
- ② ICT 機器を利用した分かりやすい教育活動の研究
- ③ 食育活動の実施
- ④ SDGs への取り組み
- ⑤ 表現力・語彙力の向上
- ⑥ 安全教育の継続
- ⑦ 運動能力・体力の向上
- ⑧ マナー教育の充実

(2) 指導力向上

- ① 教員研修・園内研修の実施
- ② くぼた脳研の活用
- ③ 安全教育・救命技能の向上
- ④ 人事考課制度、評価の実施
- ⑤ 担任ローテーションの実施
- ⑥ 保育マネジメントの充実

(3) 保育環境の充実

- ① 保育室環境
- ② 園庭環境
- ③ 自園給食の実施

(4) 進路指導の充実

(5) 幼小連携の充実

2. 教職協働の強化

(1) 募集活動の意識共有

- ① 募集活動への協力と助言
- ② 入園希望園児の紹介

- (2) 補助金獲得の提案
 - ① その他財源確保の提案
- (3) 幼稚園運営の援助協力、他法人の学校運営の具体例の調査提示・提案
- (4) 事務処理のIT化
- (5) 教員採用・人材確保の確立
- (6) 契約職員、アルバイトの有期雇用の廃止
- (7) 寄付金獲得のための具体案の提示
- (8) 特別協力金納付率100%
- (9) 高まる預かり保育のニーズに対応

3. 財務基盤の強化

- (1) 安定的財務基盤の確立
 - ① 定員確保
 - ② ネットを通じた情報発信の見直しと充実
 - ③ 特別協力金納付率100%
 - ④ 寄付金の募集「まつかさ応援募金」
 - ⑤ 他学部との連携を模索

[3] 小学校の事業計画

1. エンrollment・マネジメントの強化

- (1) 教員の質の向上
 - ① 教科指導力の向上
 - ② 学級経営力の向上
 - ③ 人材の確保と適材適所配当
 - ④ 研究誌の毎年発行

- ⑤ 公開授業の実施

- (2) 学力（認知能力）を育成する教育
 - ① 学力向上に向けた取り組みの継続と強化
 - ② 「学力向上教材」の作成と利用
 - ③ 漢字学習方法の精査
 - ④ 「進路ファイル」の周知
 - ⑤ T A S Cの充実

- (3) 非認知能力を育む教育の徹底
 - ① 生活指導の強化と徹底
 - ② 学校行事の意義の向上
 - ③ 協働学習の手法の確立と実施
 - ④ 給食の在り方と食育
 - ⑤ 「道徳」科目の確立

- (4) 未来につなぐ力の育成
 - ① 進路指導の取組強化と周知
 - ② キャリア教育
 - ③ I C T教育
 - ④ 英語教育

2. 教職協働の強化

- (1) 組織改革の計画的実施
 - ① 組織改革
 - ② 校務分掌・業務必携
 - ③ 児童に対する教員連携強化

- (2) 適材適所に必要な人材の確保と配当の計画

- (3) 教職員の勤務環境の整備

- (4) 老朽化や時代の変化に伴う施設の改装への計画・協力

- (5) 各部署との連携の強化

- ① 帝塚山学院幼稚園
- ② 帝塚山学院中学校高等学校、帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校
- ③ 帝塚山学院大学
- ④ 本部事務局
- ⑤ アドミッションセンター
- ⑥ 保護者・PTA

3. 財務基盤の強化

- (1) 児童定員の確保

- (2) 適正な児童定員数と、学校授業料の段階的改定

- (3) 外部資金の獲得

[4] 泉ヶ丘中学校高等学校の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 進路指導部
 - ① 国公立大及び国公立医学部等現役での合格者増

- (2) 国際教養部
 - ① 国際英語コース進学実績向上
 - ② 海外留学制度の拡充

- (3) 入試対策部
 - ① 募集定員確保とレベルの維持・上昇

- (4) 生徒指導部
 - ① 校内規範意識のさらなる向上

- (5) 保健部
 - ① 安心安全な学校づくり
 - ② メンタルケアの継続

(6) 生徒会・学年活動

- ① 学校行事の生徒主導への変換
- ② 計画性のある継続的实施

(7) 教務部

- ① 日常教育活動の円滑な実施
- ② 教科主任との連携強化

(8) 組織的活動の徹底

- ① 組織ごとの会議運営と全体方針の徹底

2. 教職協働の強化

(1) 教育施設の有効活用

(2) P T A、同窓会との連携強化

3. 財務基盤の強化

(1) 入学生確保

(2) 補助金の獲得

[5] 中学校高等学校の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 生徒指導力の強化

- ① 理科教育の充実と大学連携の強化
- ② 社会につながる教育と生徒進路のリンク
- ③ 多様な進路への対応
- ④ 自治会・生徒会活動の強化

(2) 教科指導力の向上

- ① 食堂環境の整備
- ② I C T環境の整備

- ③ 教員研修の実施
- ④ 優秀な人材の確保

(3) 生徒の学力向上

- ① エトワール上位層の模試成績を維持・向上
- ② プルミエ生の現役大学合格率を維持・向上
- ③ 関学コース生の英検取得率を維持・向上

2. 教職協働の強化

(1) 教職協働の促進

- ① 教頭と事務長の連携
- ② アドミッションセンターの幼小・中高 分割
- ③ 教職・事務職の業務相互乗り入れ

(2) ガバナンスの強化

- ① 管理職の業務内容を精査
- ② 教員の業務量及び労働時間の適正化

(3) 教育環境の整備

- ① クラス数に応じた普通教室と特別教室の確保
- ② クラス数・生徒数に見合った教員数の確保

3. 財務力の強化

(1) 入試募集の強化

- ① 安定した入試募集による予算基盤の強化
- ② 生徒募集力の強化
- ③ データ分析力の強化

(2) 外部資金の獲得

- ① 大阪府や文部科学省等の競争的補助金獲得

[6] 大学・大学院の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 教育課程の質の保証

- ① 2年目を迎えた3学部体制の新カリキュラムの運営と基盤教育機能の管理
- ② 大学院の2専攻の学部接続体制の検討
- ③ 社会共創事業・プロジェクトの推進
- ④ 心理学実験室他、改築・設置
- ⑤ 基礎学力の強化と検証
- ⑥ 学修成果の点検・評価
- ⑦ 4年以内の退学者率改善
- ⑧ 教育改善への継続的取り組み

(2) 学修支援の充実

- ① 学生の能力に応じた入学前教育の実施
- ② 学修支援体制の充実（多様な授業形態の推進）
- ③ 学生の自主学習や教員とのコミュニケーションを推進
- ④ テヅカポートフォリオの活用
- ⑤ IRを活用した教学マネジメントの実行

(3) キャリア支援

- ① 内定率100%の達成
- ② 帝塚山学院大学独自の企業・団体の開拓

(4) 学生サービスの向上

- ① 多様な課外活動の支援（学生生活等の活性化）
- ② 学生指導及び学生生活支援
- ③ 経済的支援（各種奨学金等）

(5) 学修環境の整備

- ① 食堂、図書館の改善
- ② IT活用環境の改善
- ③ 企業とのコラボ活動

(6) 地域社会への貢献

- ① 地域連携事業の強化

2. 教職協働の強化

(1) 教学マネジメントの機能性

- ① 学長会議、執行部の意思決定プロセスの明確化
- ② 組織における権限と責任の明確化
- ③ 中期計画に従い、各年の目標を検証し、全教職員で意識共有

(2) 教員の配置・職能開発、職員の研修

- ① 教員評価実施
- ② FD研修会の内容を明記して定期的に実施

(3) 内部質保証の実施

- ① 内部質保証システムの実質化
- ② アセスメント・ポリシーによる学内取組の体系化と継続的な運用

3. 財務基盤の強化

(1) 入学定員の充足

- ① 入学定員の確保
- ② 高校訪問・校内ガイダンスの体制強化
- ③ 大学接触者（名簿）の精緻化
- ④ 入試制度の見直し
- ⑤ 各学科の偏差値目標
- ⑥ 令和6年度学部再編に伴う広報強化

(2) 外部資金の獲得

- ① 教育改革等の取組みによる補助金の獲得

(3) 人件費の抑制

- ① 専任教員数の適正化
- ② カリキュラムのスリム化による非常勤講師持ちコマ数の削減
- ③ ワンキャンパスに伴う職員組織のスリム化と専任職員の確保

(4) 物件費の削減

- ① 購入什器・工事等の仕様の再点検、相見積等、予算管理の徹底
- ② 施設管財の計画的な実施
- ③ 委託業務の見直しと効率的な委託業者の活用

IV 令和7年度 予算の概要

[1] 資金収支計算書(活動区分資金収支計算書)

(単位:百万円)		令和6年度 補正予算 ①	令和7年度 当初予算 ②	令和6年度補正予算vs令和7年度当初予算 差異 ②-①
教育活動資金収支差額	A	140	315	175
教育活動収入	①	6,827	6,895	68・経常費等補助金収入増
教育活動支出	②	6,536	6,559	24・人件費支出及び教育研究経費支出増
差引	①-②	292	336	44
調整勘定等		△152	△20	131 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
施設設備等活動資金収支差額	B	△455	△962	△507
施設整備等活動資金収入	①	648	291	△357
施設整備等活動資金支出	②	1,118	1,253	135
差引	①-②	△470	△962	△492
調整勘定等		15	0	△15 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
小計	C=A+B	△315	△647	△332
その他の活動による資金収支差額	D	△30	△31	△2
その他の活動資金収入	①	1,566	1,111	△455・特定資産取崩収入減
その他の活動資金支出	②	1,596	1,142	△453・特定資産繰入支出減
差引	①-②	△30	△31	△2
調整勘定等		0	0	0 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
支払資金の増減額	E=C+D	△344	△678	△334
前年度繰越支払資金	F	2,514	2,170	△344
翌年度繰越支払資金	G=E+F	2,170	1,491	△678

[2]事業活動収支計算書

(単位:百万円)		令和6年度 補正予算 ①	令和7年度 当初予算 ②	令和6年度補正予算vs令和7年度当初予算 差異 ②-①
教育活動収入	A	6,868	6,896	28
学生生徒等納付金		4,497	4,403	-94 ・ 高校無償化による授業料減
手数料		65	66	1
寄付金		111	111	1
経常費等補助金		1,709	1,843	134 ・ 授業料支援補助金増、大学経営改革補助金増
付随事業収入		300	325	25 ・ 給食費収入、TSS収入、預かり保育収入増
雑収入		186	147	-39 ・ 退職金財団交付金及び退職引当金戻入減
教育活動支出	B	7,154	7,212	58
人件費		4,400	4,400	-0
給与等経常的人件費		4,251	4,276	25
退職金関連等的人件費		149	124	-25 ・ 退職給与引当金繰入減
教育研究経費		2,049	2,108	59 ・ 減価償却費増
管理経費		705	704	-1
教育活動収支差額	C=A-B	-286	-316	-30
教育活動外収入	D	62	78	16
受取利息・配当金		58	73	15 ・ 受取利息収入増
その他の教育活動外収入		4	5	1
経常収支差額	E=C+D	-224	-238	-14
特別収入	F	18	41	23
その他の特別収入		18	41	23 ・ 施設設備補助金増
特別支出	G	17	1	-16
その他の特別支出		17	1	-16
基本金組入前当年度収支差額	H=E+F-G	-223	-199	24
基本金組入額	I	-323	-613	-289
				<主要な投資> ○大学(調理実習室・心理実験室・学内ネットワーク改修) ○中学校高等学校(食堂拡張工事、トイレ改修) ○泉ヶ丘中高(生物実験室及び屋外バレーコート改修) ○小学校(トイレ改修、インベーション機材、食洗器入替)等
当年度収支差額	J=H+I	-546	-812	-266

[3] 学生・生徒数推移表(令和元年度～令和7年度)

令和7年度当初予算

学 科 等	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度	
	入学者数	在籍者数	在籍者数	入学者数	在籍者数	予想入学者数	予想在籍者数													
	5月1日現在	9月1日現在	5月1日現在																	
(大 学)																				
小・中学校部 ①	151	359	474	469	146	540	535	144	597	591	162	613	607	583	158	572	153	575	575	
人間科学部 ②	405	1,322	1,309	1,254	283	1,211	1,204	270	1,154	1,146	248	1,042	1,028	742	2	729	0	481	481	
情報メディア学科	77	211	208	166	1	111	111	0	73	71	0	8	8	0	0	3	0	0	0	
心理学科	148	494	486	503	171	541	538	159	561	557	136	579	570	431	2	420	0	276	276	
食物栄養学科	126	478	477	471	108	466	463	111	471	469	112	447	442	308	0	307	0	205	205	
キャリア英語学科	54	139	138	114	3	93	92	0	49	49	0	8	8	0	0	0	0	0	0	
総合心理学科 ③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
食環境学部 ④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
食イノベーション学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
管理栄養学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大学院 ⑤	20	34	34	41	20	40	39	21	40	40	25	45	44	48	22	48	22	44	44	
大 学 計 ①～⑤	576	1,715	1,698	1,769	449	1,791	1,778	435	1,791	1,777	435	1,700	1,679	445	1,636	1,608	422	1,596	1,596	
				54	△ 47	22	△ 14	△ 28	△ 1	△ 1	0	△ 91	△ 98	10	△ 64	△ 71	△ 23	△ 40	△ 40	
(住 吉 校)																				
高等学校 ⑥	262	760	757	740	257	731	728	280	751	747	270	792	790	815	276	809	275	810	810	
中学校 ⑦	278	730	728	765	279	801	798	269	797	793	264	800	798	788	264	785	267	788	788	
中・高等学校 計 ⑥+⑦	540	1,490	1,485	1,505	536	1,532	1,526	549	1,548	1,540	534	1,592	1,588	1,603	540	1,594	542	1,598	1,598	
小学校 ⑧	121	676	671	673	117	669	667	128	680	678	104	669	669	655	105	654	105	648	648	
幼稚園 ⑨	51	151	149	153	56	160	161	54	158	158	56	156	158	140	42	142	52	144	144	
住吉校 計 ⑥～⑨	712	2,317	2,305	2,331	709	2,361	2,354	731	2,386	2,376	694	2,417	2,415	2,398	687	2,390	699	2,390	2,390	
(泉ヶ丘校)																				
高等学校 ⑩	288	881	879	868	334	902	893	310	911	907	319	942	940	946	331	944	344	977	977	
中学校 ⑪	155	516	515	483	167	477	475	173	495	495	152	490	489	471	147	470	169	464	464	
泉ヶ丘校 計 ⑩+⑪	443	1,397	1,394	1,351	501	1,379	1,368	483	1,406	1,402	471	1,432	1,429	1,417	478	1,414	513	1,441	1,441	
高校以下計 ⑥～⑪	1,155	3,714	3,699	3,682	1,210	3,740	3,722	1,214	3,792	3,778	1,165	3,849	3,844	1,165	3,815	3,804	1,212	3,831	3,831	
総 合 計 ①～⑪	1,731	5,429	5,397	5,451	1,659	5,531	5,500	1,649	5,583	5,555	1,600	5,549	5,523	1,610	5,451	5,412	1,634	5,427	5,427	
9/1在籍者-5/1在籍者				△ 22		△ 31			△ 28			△ 26				△ 39				
対前年度同月日				△ 121	22	80	71	△ 10	52	55	△ 49	△ 34	△ 32	10	△ 98	△ 111	24	△ 24	△ 24	
				△ 32	△ 20	96	43	4	52	56	△ 49	57	66	0	△ 34	△ 40	47	16	16	

高以下の対前年度増減